

# 事業報告書

第25期 令和6年度（2024年度）

---



**kashokai**  
nukumorinosono since2000

社会福祉法人 嘉祥会

# はじめに

---

3年に一度となる、定例の介護保険法改正が2024年4月に行われました。昨今の原材料や人件費の高騰等を踏まえ、介護報酬においてはサービスの基本報酬は概ねプラス改定でしたが、訪問介護サービスにおいてはマイナス改定となりました。また6月には複雑化していた処遇改善加算の一本化もされました。財務諸表の公表を義務化されたことで、これまで対象外であった株式会社等も経営の一部を「みえる化」させることで、幅広いデータが集まり、各事業所等の経営状況の調査・分析に基づいた支援が期待されます。

2024年度の町田市の施政方針においては、「まちだ健康づくり推進プラン24-31」と、「町田市いきいき長寿プラン24-26」の2つの計画を掲げています。「まちだ健康づくり推進プラン24-31」においては、市民が健康で安心し、希望を持って生活できることを目指すとともに、「町田市いきいき長寿プラン24-26」においては、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる地域社会の実現を目指しています。「住み慣れた地域で」の同キーワードは当会も以前から掲げており、地域密着型の社会福祉法人として、行政の施策とも合致した取り組みをこれからも進めてまいります。

様々な感染症の拡大が報道されていましたが、当会におきましては感染症の拡大事象はいずれも発生せず、通常サービス提供を継続することができました。引き続き予防に努め、地域の高齢者のみなさまが安心して暮らせる環境を整えるため、これからも地域の皆様とも連携し、質の高いサービスの提供に努めてまいります。

## 目次

---

|    |                               |      |
|----|-------------------------------|------|
| 1. | 法人本部 事業報告書                    | P 1  |
| 2. | グループホーム ぬくもりの園 事業報告書          | P 5  |
| 3. | デイサービス ぬくもりの園 事業報告書           | P 8  |
| 4. | ショートステイサービス ぬくもりの園 事業報告書      | P 11 |
| 5. | 居宅介護支援事業所 ぬくもりの園 事業報告書        | P 14 |
| 6. | ヘルパーステーション ぬくもりの園（高齢者福祉）事業報告書 | P 16 |
| 7. | ヘルパーステーション ぬくもりの園（障害福祉）事業報告書  | P 18 |
| 8. | サービス付き高齢者向け住宅 清住の杜町田 事業報告書    | P 20 |
| 9. | 地域密着型デイサービス Cherish 事業報告書     | P 23 |

# 法人本部

---

## ■ 事業報告概要

昨年度より新規事業(地域密着型デイサービス Cherish(チェリッシュ))がはじまり、引き続きサービスの安定提供に向け、事業所との連携を密に行いました。従来のぬくもりの園のデイサービスと併用でご利用される方もいっしょに、デイサービスであっても、ご利用の用途に合わせたサービスの提供を行えています。

他法人との連携等により、商店街のイベント出店や、キッチンカーや野菜販売の定期開催も行いました。また、地域の方と協力し、サービス付き高齢者向け住宅に併設の地域交流室でディスコのイベントを行い、メディアにも取り上げて頂きました。これまで以上に地域活動の一旦を担うことができいております。

法人全体の残業時間については、月平均約 76 時間(前年度対比+12 時間)、職員1人当たり約 1 時間 00 分(+15 分)となっております。増加要因については、上期に実地指導があり、対応の為一部事業所で残業が平時より多く発生した為です。引き続き、定時での業務を慣例とし、職員の負担軽減、業務の効率化に繋げるよう取り組んで参ります。また、有給休暇の取得(消化)については、取得日数 724.5 日、取得率 75.5%と前年比でほぼ横ばいですが、平均取得日数については、9.9 日と 0.5 日のアップとなりました。取得率の改善による職員定着率向上の為、利益を一定維持しつつも、働きやすい職場環境の整備を進め、引き続き業務の見直しなどを図って参ります。

法人及び公益的な広報活動として、ホームページ(ブログを含む)や SNS(インスタグラム等)を活用し、サービスの紹介や空室情報、地域情報の発信にも努めております。インスタグラムにおいては 1 月から 3 月までの直近 3 カ月での前年対比において、町田市内ユーザーへのインプレッション数(閲覧数)が 3,484 人(前年同期間比+7.3%)、プロフィールへのアクセス数は 1,859 人(前年同期間比 +8.2%)、フォロワー数は 1,838 人(前年同期間比 +9.0%)、といずれも向上しております。ストーリーコンテンツ(24 時間限定投稿)の投稿を 2 倍以上増やしたことも要因の一つと考えられます。インスタグラムについては直接の問い合わせはありませんでしたが、入職時等の参考にされているケースがあり、市内の方の法人認知度の向上に繋がっています。今後も各媒体を継続して閲覧していただけるよう、定期的に各コンテンツの投稿、内容のアップデートも図って参ります。

---

## 【1. 重点目標】

### (1) 職員の「心と体の福利厚生イベント」の開催

腰痛体操等につきましては、全体としての開催はできませんでしたが、担当職員に個別に体のゆがみ等の相談をし、運動方法や普段の生活で気を付ける姿勢をアドバイスもらいました。また、職員研修は業務時間外に行う為、気持ちのリラックスを考え、その研修のテーマにあったアロマを研修時に焚きました。

そして、福利厚生として、FC 町田ゼルビアより、5 月、6 月、9 月の試合のチケットをいただき、職員とご家族も招待し、合計 8 組が参加されました。

まちだテントサウナ協会の協力によるテントサウナのイベントはヨリドコ小野路宿で行う医療、介護、福祉職向けのサウナイベント(職員無料)で周知し、実施致しました。

## (2) 業務マニュアルの再構築

業務マニュアルの再構築の一環として、視覚的に共通認識を持てる「マニュアル動画」の制作準備を進めました。グループホームにおいて「消毒液の作り方」、「トイレの清掃」など2本を制作し、新入職員の方や既存職員の方に共有しました。新入職員の方に対しては、OJT 以外に動画の視聴をすることでの習得時間の短縮化に、既存職員に対しては基準の再確認にもなり、業務品質の安定・向上に繋がっています。次年度以降も他事業所含め、引き続きマニュアルの再構築を進めて参ります。

## (3) 法人と法人の協力による地域貢献活動

忠生第一高齢者支援センター、地域住民主体団体との協力により、奇数月(5, 7, 9, 11, 1, 3月)の第3土曜日に、まちの保健室「さくら保健室」を小山田桜台商店街のデイサービス、Cherishで実施しました。「10年後もこのまちで暮らし続けるために」をキャッチフレーズとし、「防災」や「認知症の理解」「健康体操」等、毎月テーマを決め実施しました。さくら保健室の取り組みは、11月にシルバー新聞にも掲載されました。

今年度も認知症啓蒙活動として、毎月第3水曜日に担当職員による「オンラインDカフェ」。6月に、桜美林大学学生対象に「認知症サポーター研修」。9月に「オレンジ音楽祭」の協力、「ラン伴町田」の協力としてぬくもりの園のデイサービス前の駐車場をゴール地点として、グループホーム、デイサービスのご利用者も応援に参加しました。

地域に喫茶店があれば、との地域の方の要望や清住の杜町田にお住まいの方の楽しみの場所づくりとして、7月から月に一度おやつ時間にスイーツのキッチンカーが来てくれることになり、その時間に地域交流室を開放し、フードコートのような喫茶店にすることができました。清住の杜町田にお住まいの方、ショートステイのご利用者、グループホームのご入所者、地域の方や他の事業所の方、いろいろな方がご利用され、月に一度ですが地域喫茶の実現もできました。3月からはキッチンカーの開催時間に合わせ、地域交流室で、アロマハンドマッサージの開催も始めました。

9月、4年ぶりに地域の上根神社のお神輿がぬくもりの園のデイサービス前の駐車場に立ち寄ってくださり、獅子舞やお囃子を楽しみました。

地域の防災講習会や子ども食堂のお手伝いには嘉祥会の職員も定期的に参加しました。地域の防災訓練にはグループホームのご入居者、地域の方が開催する「地域サロン」には、清住の杜町田にお住まいの方も参加し、地域の方との交流の時間を持ちました。

また、コロナで中断していた、地域の小学校の生徒のデイサービス訪問、地域の子供たちのハロウィーン来園も再開し、9月には、清住の杜町田の玄関前でお住まいの方たちが地域の子供たちと一緒に花火をして、地域の子供たちとの交流をしました。

11月には、昨年度に続き、社会福祉法人基督教児童福祉会、バット博士記念ホームさん、社会福祉法人まちのひ、はくほうホームアイビーさんとの共同による、「清住3法人」主催で「カレー食堂」を開催し、スイーツのキッチンカーも同時出店しました。

4月お花見会、7月夏祭り、8月小山田桜台団地祭り、10月ハロウィーン祭り、1月新年会と、小山田桜台のお祭りにCherishとして参加し、酒饅頭やラムネ、フランクフルトの販売をおこないました。また、お祭りに、石川県能登半島地震義援金、赤い羽根共同募金の募金箱を設置し、11月に能登半島地震、3月に共同募金にそれぞれ募金しました。

1月に清住の杜町田の地域交流室で、DJによる演奏の「清住サンデーディスコ」を開催しました。清住の杜町田にお住まいの方、地域の方、ショートステイご利用者が集まり、思い思いに体を動かし楽しみ、タウンニュースにも掲載されました。

3月には、嘉祥会と同じ下小山田の大谷里山農園の「里山ごはんマーケット」にも酒饅頭の販売で参加しました。

## 【 2. 研修 】

(内部研修)

| 月   | 研修内容       | 受講職員       | 講師            |
|-----|------------|------------|---------------|
| 4月  | 理事長研修      | 全職員        | 彌信道理事長        |
| 6月  | 介護職基礎研修    | 役職者以外の介護職員 | 彌一勲施設長        |
| 6月  | 経営と社会貢献    | 主任以上管理職    | 彌一勲施設長、浅賀事務局長 |
| 8月  | アンガーマネジメント | 主任以上管理職    | 彌一勲施設長        |
| 10月 | 救急救命研修     | 全職員        | 町田消防署忠生出張所    |
| 10月 | 接遇研修       | 全職員        | 彌一勲施設長        |
| 12月 | 認知症研修      | 役職者以外の職員   | 彌一勲施設長        |
| 1月  | 組織マネジメント研修 | 主任以上管理職    | 彌一勲施設長        |
| 2月  | 感染症対策      | 全職員        | 感染症対策委員       |
| 3月  | BCP 研修     | 全職員        | 棚田事務局次長       |
| 3月  | 高齢者虐待・身体拘束 | 全職員        | リスクマネジメント委員   |

(外部研修)

| 月    | 研修内容      | 受講職員      | 主催    |
|------|-----------|-----------|-------|
| 4～5月 | 認知症介護実践研修 | GH 職員 1 名 | 厚生労働省 |

5～7月

相談員援助研修

Cherish 職員 1名

町田市介護人材開発センター

【3. ギャラリー】 この他にもブログや SNS に日々のご様子を掲載しています。



## 高齢者グループホームぬくもりの園（認知症対応型共同生活介護・共用型認知症対応型通所介護）

---

### ■ 事業報告概要

空室が続いておりましたが、9月に満床となりました。3月に退居が1名ありましたが、居宅介護支援事業所と連絡を取り合った結果、空室状況が続くことなく、スムーズに満床となりました。地域行事や地域資源を活用し、地域の皆様と積極的に交流することが出来ました。コロナ前に行なっていたバーベキュー、日帰り旅行も復活し、ご家族も行事に参加され、ご入居者は大切なご家族と共に時間を過ごし、思い出を作ることが出来ました。

認知症対応型共同生活介護(以下グループホーム)の平均稼働率90.01%、平均要介護度2.41でした。共用型認知症対応型通所介護は、2025年3月末で廃止となりました。

---

### 【 1. 重点目標 】

#### (1) 認知症対応型共同生活介護（以下グループホーム）

##### ア. ご入居者と地域の方との触れ合う機会を増やします

外出する機会を多く設け、散歩などで出会う地域住民の方に挨拶をしたり、地域行事への参加、清住の杜に来るキッチンカーや移動パン屋などでおやつを購入したり、地域住民の方と触れ合う機会がありました。ご自分で使われる身の回りの物をスーパーで購入し、地域に根差した生活を送ることが出来ました。また、地域運営推進会議に2か月に1回、ご入居者の代表が1名参加し、地域住民の方達と積極的な意見交換をすることができました。

#### (2) 共用型認知症対応型通所介護

##### ア. 在宅での生活の支援

ご利用者及び職員の配置確保の点から、2024年9月より一時休止し、2025年3月末で廃止としました。

---

### 【 2. サービス内容 】

(1) ご入居者の生活／お一人おひとり、自由にゆったりとした時間を過ごしていただきました。掃除、洗濯、食事作りをご本人の生活のリズムに合わせて行い、野菜や花の苗植え、作品作り等、それぞれの方のお好きなこと、やりがいになる事を取り入れ、生活の活性化を図りました。

(2) ご家族との交流／ご入居者の様子が分かるように、ご家族への手紙に写真を添えました。また、体調変化等があったときには、随時ご家族に連絡し、ご入居者の様子をお知らせしました。感染症による感染者数や萬延防止期間等を考慮しながら感染症対策をした上で、制限を設けながら実施できるときは、面会を再開しました。ご家族が母の日に花を持ってきてくださったり、手紙を送ってくださったりすることで、ご家族との交流を深めました。

(3) 食事／ア. 常食以外の方は食札を作り、食事提供前に確認をして提供しました。／イ. 6月は流しそうめん、9月には、敬老会を行ない、季節の食事イベントを味わいました。中庭の花壇に野菜の苗を植え、収穫したきゅうりやトマトをサラダなどに使用し、食卓を飾りました。また、園の畑に地域の農家の方と一緒にジ

ヤガイモを植えて収穫し、ご飯やおやつで召し上がりました。／ウ. 毎月、栄養士の献立による季節の食材を多く使った食事を提供しました。／エ. 毎月、地域で採れた季節の野菜を使用したイベント料理を提供し、健康になっていただけるように努めました。

(4) 体調管理／ア. 介護職員による朝・夕・入浴前後のバイタル測定を行い、体調管理に努めました。／イ. 週に1度の歯科、2週間に1度の訪問診療により、医療との連携を図りながら、体調管理に努めました。／ウ. ケアカンファレンスを通して、ご入居者の心身の状態を把握しました。また、グループホーム内会議時に、認知症等の勉強会を行うことで、ケアの質の向上を図り、ご入居者が穏やかに過ごしていただくように努めました。

### 【 3. 年間行事 】

| 月  | 内 容        | 月   | 内 容              |
|----|------------|-----|------------------|
| 4月 | お花見ツアー     | 10月 | バーベキュー大会、運動会、作品展 |
| 5月 | 母の日・父の日会祝い | 11月 | 紅葉狩り、            |
| 6月 | 紫陽花見学ツアー   | 12月 | クリスマス会、餅つき大会     |
| 7月 | 七夕まつり      | 1月  | お正月、初詣           |
| 8月 | 大夏まつり      | 2月  | 節分会              |
| 9月 | 敬老祝賀会      | 3月  | ひな祭り会            |

### 【 4. 施設管理 】

#### (1) 会議・職員研修等

| 月  | 内 容            | 月   | 内 容                     |
|----|----------------|-----|-------------------------|
| 4月 | 全体会議、事業所会議     | 10月 | 事業所会議、職員全体会議            |
| 5月 | 地域運営推進会議、事業所会議 | 11月 | 事業所会議、避難訓練、<br>地域運営推進会議 |
| 6月 | 事業所会議          | 12月 | 事業所会議                   |
| 7月 | 運営会議、地域運営推進会議  | 1月  | 事業所会議、地域運営推進会議          |
| 8月 | 事業所会議          | 2月  | 事業所会議                   |
| 9月 | 消火訓練、事業所会議     | 3月  | 事業所会議、地域運営推進会議          |

#### (2) 消防訓練等

11月に避難訓練を実施しました。2月に消防設備点検が行われました。

#### (3) 感染症対策

コロナウィルス等、感染症の流行情報には十分注視し、除菌やマスク、手袋等の着用を改めて意識して、備蓄含め感染予防、1日2回の換気の実施等、消毒を徹底し、拡大防止に努めました。

【 5. ギャラリー 】 この他にもブログや SNS に普段のご様子を掲載しています



## ■ 事業報告概要

感染症予防策を継続して実施した結果、年度を通して感染症発症事例はなく、今後も継続していきます。認知症対応型通所介護の平均稼働率は41.8%、となり、上半期の平均稼働率より2.6%低下しております。8名の新規ご利用者を紹介いただきましたが、9名のご利用者が、入院、他界等で利用中止となっております。地域密着型通所介護の平均稼働率は77.3%となり上半期平均稼働率より9.2%上昇しております。11名の新規ご利用者をご紹介いただきました。既にご紹介をいただいている居宅介護支援事業所からの紹介がメインとなっております。ショートステイ事業所ご協力のもと、毎月、空き状況を市内80か所の居宅介護支援事業所へFAXにてお知らせを送信、また毎月、ご紹介いただいている居宅介護支援事業所の担当ケアマネジャーへモニタリングで利用状況をお知らせしています。

---

### 【1. 重点目標】

#### (1) 認知症対応型通所介護

##### ア. 感染症予防策を継続し、安定した運営が行えるよう努めます

ご自宅へのお迎え時の車内、来園後及び昼食後に非接触型体温計にて検温を実施、その後も必要に応じて検温を実施しております。今年度の感染症発症事例はありませんでした。継続して実施します。

##### イ. ご利用者の状況及び状態の把握を実施し、適したサービス提供に努めます。

ご紹介いただいているご利用者のモニタリング用紙および入浴設備等のご案内を、担当ケアマネジャーへ送信、送付し情報共有を実施。担当者会議へも積極的に参加し信頼関係の構築に努めております。ご利用者との日常会話や送迎時のご家族との会話で、生きがいを見だし、職員間での情報共有を実施、サービスとして提供できるよう努めております。

#### (2) 地域密着型通所介護

##### ア. 感染症予防策を継続し、安定した運営が行えるよう努めます

ご自宅へのお迎え時の車内、来園後及び昼食後に非接触型体温計にて検温を実施、その後も必要に応じて検温を実施しております。今年度の感染症発症事例はありませんでした。継続して実施します。

##### イ. ご利用者の利用目的を明確にし、必要な支援及びサービスを提供します。

ご紹介いただいているご利用者のモニタリング用紙および入浴設備等のご案内を、担当ケアマネジャーへ送信、送付し情報共有を実施。ご利用者との日常会話の中で、「やりたいこと」を見だし、それに応えられるよう日常業務の調整等を行い、サービス提供できる時間を設けてまいりました。

---

### 【2. サービス内容】

#### (1) 生活支援・援助

レクリエーション活動の際には、機能訓練の要素を取り入れ、楽しみながら身体を動かすことで介護予防に努めました。

#### (2) 食事

ご利用者のご状態に合わせた形態で提供し誤嚥予防に努めております。また、食事メニューを工夫し、季節の野菜を取り入れた調理を実施しました。

#### (3) 入浴

ご利用者のご希望、ご状態に合わせて特殊浴槽、ミスト浴槽、一般浴槽にてご提供しています。

#### (4) 環境整備

室内温度、換気、空気清浄機を活用し感染予防に努めております。8月に空調設備の増築をしました。しかしながら、年明けに脱衣所及び事務所、ボランティア室の空調設備が故障し、温風器にて対応、次年度に修繕を予定しております。

#### (5) 送迎

安全運転に努めながら事故のないよう努めています。新入職員への車椅子送迎車両の手順説明を随時実施しました。タイヤがパンクした事例が2回発生しました。緊急時の対応も含め、職員間で再確認しました。

#### (6) 体調管理

職員は出勤時、ご利用者は毎回利用開始時の検温、血圧測定を実施、職員はマスク着用での勤務、ご利用者へはマスク着用協力依頼をお願いしました。必要に応じて再検温や血中酸素飽和度を計測し安心してご利用できるよう努めました。次年度も継続して実施していきます。

---

### 【 3. 年間行事 】

| 月  | 内 容    | 月   | 内 容          |
|----|--------|-----|--------------|
| 4月 | お花見めぐり | 10月 | 秋の大運動会       |
| 5月 | 筍御膳    | 11月 | さんま祭り        |
| 6月 | 紫陽花めぐり | 12月 | クリスマス会&お餅つき  |
| 7月 | 七夕祭フェア | 1月  | 梅の花めぐり       |
| 8月 | 暑気払い   | 2月  | マクドナルドへ行こう   |
| 9月 | 敬老会    | 3月  | 郷土料理（きりたんぼ鍋） |

---

### 【 4. 施設管理 】

#### (1) 会議・職員研修等

| 月  | 内 容            | 月   | 内 容               |
|----|----------------|-----|-------------------|
| 4月 | 全体会議           | 10月 | 事業所会議・全体会議・救急救命研修 |
| 5月 | 事業所会議          | 11月 | 事業所会議・運営会議        |
| 6月 | 事業所会議・町田市通所会議  | 12月 | 事業所会議・認知症研修       |
| 7月 | 事業所会議・感染症の研修   | 1月  | 事業所会議・マネジメント研修    |
| 8月 | 事業所会議・入浴に関する研修 | 2月  | 事業所会議・感染症研修       |
| 9月 | 事業所会議、消防訓練     | 3月  | 事業所会議・BCP、身体拘束研修  |

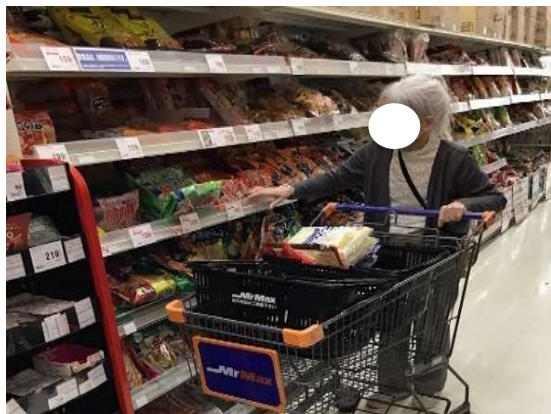
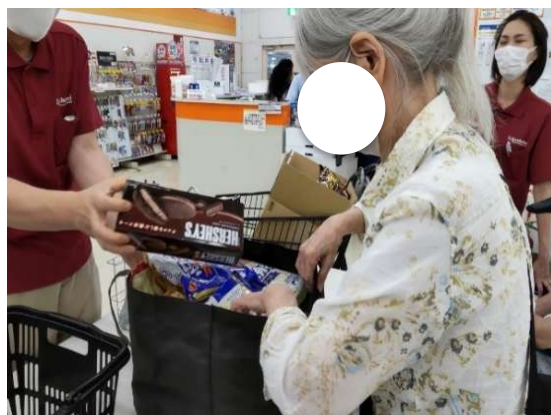
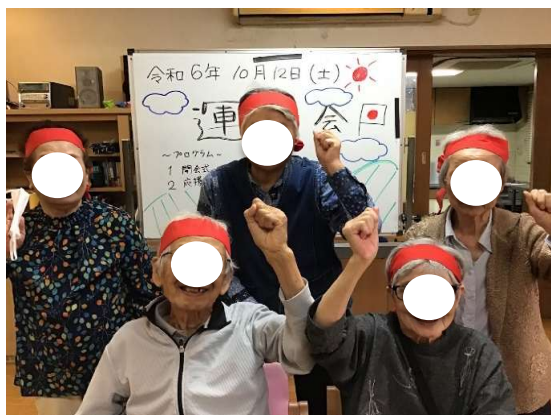
#### (2) 消防訓練等

9月に防火管理者による消火器訓練を実施しました。毎日、定時での点検及び定期的にコンセント等の確認を行いました。策定したBCPをもとに災害時の対応の見直しや物品の整備を行い、3月に研修も実施しました。

#### (3) 感染症対策

コロナウイルス等、感染症の最新情報には十分注視し、手指消毒やマスク、定期的な換気、手袋等の着用を改めて意識して、備蓄含め感染予防、拡大防止に努めました。

【 5. ギャラリー 】 この他にもブログや SNS に日々のご様子を掲載しています。



### ■ 事業報告概要

ご利用者の意思を尊重したサービスの提供とご自身のもつ能力を活かしたケア方法を実践するため、事業所会議で勉強会を行い職員全員が共通の目的を持ちチームプレーで自律的支援の向上に取り組むよう努めました。介護ロボット(見守りセンサータイプ)の導入から一年が経ち、就寝時の体調や状態の変化への早期発見、転倒等の事故予防に繋がっていると感じます。また、日々の生活ではご本人の生活リズムに配慮しながら、やりたい事や趣味活動、他者との交流ができるようレクリエーションの提供を心掛け、午前午後と定時で体操を行い心身の活性化を図るようにしました。年間行事では毎月季節にちなんだイベントを実施し、外出イベントを取り入れ自然を肌で感じ季節感を味わいながら気分転換をしていただきました。年平均稼働率は88.4%、利用人数830名、新規ご利用者144名のご紹介をいただきました。定期的に空き室状況を居宅介護支援事業所にFAXにてお知らせし長期の空き室が発生しないよう努めました。

---

### 【1. 重点目標】

#### (1) 自立の支援の向上

ショートステイからお帰りになられた後ご自宅にてご利用前と変わらない生活を送れるよう、また、久しぶりにご利用される際には事前にケアマネジャーや家族から情報を収集すると共に、ご利用中も状態の把握を行い過剰な介護にならないよう自律的支援に努めました。ご利用者の状態に変化がみられた時には職員間で情報を共有しアセスメントの見直しを継続して実行しました。

#### (2) 介護ロボットの導入

見守りセンサーの導入により臥床時の心拍・呼吸数と覚醒・入眠状態の確認ができ、体調の変化や排泄介助のタイミングの目安となりました。見守りカメラと併用することでベッドからの転落や転倒予防に効果がみられています。巡視時に訪室することがなくなりご利用者の睡眠を妨げることがなく職員の負担軽減も図れている一方で、見守りセンサー等を導入したことにより、今まで居室の中で起きた気づくことが難しかった事象も見えやすくなったことで訪室することが増えたこともあります。今後もご利用者のプライバシーに配慮しつつ安心な支援の提供に繋げていけるよう努めます。

---

### 【2. サービス内容】

- (1) 食事サービス／ア. 新鮮な野菜を使用し、ご利用者の状態に考慮した形態の食事を提供し召し上がっていただきました。／イ. 毎月、栄養士による季節の野菜を取り入れた栄養バランスの良い食事を提供しました。
- (2) 介護サービス／在宅生活が継続できるよう、ご利用者の心身の状況に応じて、適切な技術をもって自律的支援に努めました。また、ご利用者に楽しんでいただけるよう趣味趣向や日課を把握しできる限り個別支援を心掛け楽しく過ごしていただけるように提供しました。
- (3) 機能訓練／ご利用者の心身の状況を踏まえ、自律した日常生活を送る上で必要な身体機能の維持が図れるよう午前と午後に体操を行い機能訓練に努めました。
- (4) 入浴サービス／ア. ご利用者の心身の状況に応じた介助を行い、楽しく、安心して入浴していただけるよう努めました。／イ. ご利用者のお好みで様々な入浴剤を使用し、楽しく気分転換が図れるように努めました。

(5) 環境整備／施設内の整理整頓、ご利用者に合った居室内整備を行い、ご利用終了後には居室内清掃・消毒を行い環境整備に努めました。また、危険箇所の点検を実施し、事故防止に努めました。

(6) 体調管理／心身の状態観察やバイタルチェック(血圧・脈拍・体温の測定)等を行い、体調変化の早期発見に努めました。また、必要に応じて服薬の援助、処置などを行いました。緊急時には応急処置を行うと共に、医療機関やご家族と連携を図り、迅速に対応するように努めました。

### 【3. 年間行事】

| 月  | 内 容        | 月   | 内 容    |
|----|------------|-----|--------|
| 4月 | お花見        | 10月 | 秋の大運動会 |
| 5月 | 春のバーベキュー大会 | 11月 | 紅葉見学   |
| 6月 | 紫陽花見物      | 12月 | クリスマス会 |
| 7月 | 流しそうめん     | 1月  | 初詣     |
| 8月 | 納涼祭        | 2月  | 節分     |
| 9月 | 敬老祝賀会      | 3月  | 梅見学    |

### 【4. 施設管理】

#### (1) 会議・職員研修等

| 月  | 内 容                                  | 月   | 内 容                            |
|----|--------------------------------------|-----|--------------------------------|
| 4月 | 法人全体会議、事業所会議（身体拘束、虐待について）            | 10月 | 法人全体会議、事業所会議（ルールの見直しについて）      |
| 5月 | 事業所会議（OODA ループについて）                  | 11月 | 法人運営会議、事業所会議（身体拘束、プライバシーについて）  |
| 6月 | 事業所会議（かくれんぼう・ほうれんそうについて）             | 12月 | 事業所会議（アセスメント見直しについて）           |
| 7月 | 法人運営会議、事業所会議（身体拘束、バイタルサインについて）       | 1月  | 事業所会議（認知症、感染症について）             |
| 8月 | 事業所会議（記録について）                        | 2月  | 事業所会議（方針、事業所チェック、組織マネジメントについて） |
| 9月 | 事業所会議（サービスの質向上、アンダーマネジメントについて）、消火器訓練 | 3月  | 法人運営会議、事業所会議（身体拘束、虐待、BCPについて）  |

#### (2) 消防訓練等

毎日遅番職員にて自主点検を実施しました。9月には防火管理担当者指導による消火訓練を実施しました。策定した BCP をもとに災害時の対応の見直しや物品の整備も行いました。非常用のポータブル発電機の定期試運転も行いました。

#### (3) 感染症等

コロナウイルス等、感染症の流行情報には十分注視し、窓を開け換気を行い、手指の消毒や除菌、マスクに手袋等の着用を改めて意識して、備蓄含め感染予防、拡大防止に努めました。

【 5. ギャラリー 】 この他にもブログや SNS に日々のご様子を掲載しています



## 居宅介護支援事業所ぬくもりの園（居宅介護支援）

### ■ 事業報告概要

2024年度を通し、利用者数の拡大（請求件数の拡大）と並行し、事業拡大に向けた取り組みを進めました。9月には経験ある常勤の介護支援専門員を採用、1月からは「特定事業所加算（Ⅱ）」算定の届出を行い、事業規模の拡大および収入増に向けた基盤整備を行いました。また、基盤整備と並行し、営業活動の範囲を拡大、新規利用者の獲得に努めました。

その成果として、居宅介護支援事業所の請求件数（要介護）は、2月に初めて100件以上となり、次年度に向け更なる件数の伸びが期待できる状況をつくるできています。令和7年3月の要介護認定者の請求件数は、前年同月比で23.0%、請求額で34.8%の伸びを示しています。

支援の質の向上については、週1回のチームケア会議を中心に、一人一人のご利用者・ご家族に丁寧に向き合い、よりよい支援についての意見交換を重ねてきました。次年度も引き続き、アセスメント能力を含めた支援の向上を図るための取り組みを進めていきます。

#### 【 1. 重点目標 】

##### (1) 支援の質の向上～ご利用者の生活の質を担保しつつ、自宅で暮らし続けるための支援を提供する～

・ **カンファレンス(チームケア会議)の定期実施** : 毎朝勤務開始時のミーティングを実施、また週1回金曜日にチームケア会議を実施し、それぞれ支援困難ケースや新規受諾ケースを中心に、支援経過の共有及び支援方針の検討、法令理解等の共有を行いました。経験や基礎資格の異なる介護支援専門員が活発な意見交換を行うことで、エビデンスに基づいた支援の重要性や効果的に支援を進めていく上で必要な視点を修得する機会となるよう努めています。

・ **事例検討会の実施** : 落合ケアマネ会にて7月と9月に事例検討を行いました。3月には、多摩市介護保険事業者連絡協議会主催の事例検討会に参加しました。

・ **事業所全体および個別研修計画に沿った研修受講** : 全体研修と個別研修を組み合わせ、年間で計23の研修に参加し、研鑽を図りました。計画に沿い、高齢者虐待、認知症、ヤングケアラーに関する研修を受講しています。

##### (2) 地域包括支援センター(以下「包括C」と)の連携強化および信用の獲得～サービス提供地域を拡大し、担当件数の増加を図る～

・ **事業所に隣接する町田市・多摩市包括Cに対する営業活動の実施** : 9月に常勤の介護支援専門員を増員、担当件数の増加に向け、包括Cへの営業活動地域を拡大しました。具体的には、新たに町田市鶴川第1・町田第2高齢者支援センター、多摩市東部・西部・北部(愛宕支所)地域包括支援センターへ営業活動を拡大し、計23件の新規依頼を得ることができました。

営業地域拡大に伴い、年間の依頼件数についても上半期52件、下半期82件、計134件と大きな伸びを示しています。年間をとおし月平均11件超の新規依頼をいただけたことは、包括Cから一定の評価と信頼を得られたことの表れと捉えています。次年度についても、町田市、多摩市、八王子市の計11の包括Cとの連携強化・信用獲得に努め、更なる担当件数の増加に努めます。

・ 包括Cからの新規依頼を可能な限り受諾できる体制の構築(受諾を即答できる体制の確保、緊急依頼枠の確保、経験のある介護支援専門員の採用等) : 上半期においては、新規 52 件中 50 件の依頼を受諾しました。下半期においては 82 件中 76 件の依頼を受諾しています。9 月に経験のある常勤の介護支援専門員を採用、増員により、依頼に対して可能な限り即応できる体制を構築することができました。

## 【 2. 施設管理 】

### (1) 会議・職員研修等

| 月   | 内 容  | 月     | 内 容  |
|-----|--|-------|--|
| 4 月 | 全体会議、チームケア会議 (週 1 回)   | 1 0 月 | チームケア会議 (週 1 回)  |
| 5 月 | チームケア会議 (週 1 回)、研修「認知症高齢者の権利擁護と意思決定支援について」、他                             | 1 1 月 | チームケア会議 (週 1 回)、研修「まちだ福祉〇ごとサポートセンター忠生について」、他               |
| 6 月 | チームケア会議 (週 1 回)  | 1 2 月 | チームケア会議 (週 1 回)、研修「ケアマネジャーのみなさまへ伝えたいこと～認知症の方と共生社会について考える～」 |
| 7 月 | 運営会議、チームケア会議 (週 1 回)、研修「ヤングケアラーとは～多摩市子ども家庭支援センターとケアマネジャーの連携について～」、事例検討会他 | 1 月   | チームケア会議 (週 1 回)、研修「ケアマネジャーの高齢者虐待対応の現状～アンケート調査結果からみた課題～」、他  |
| 8 月 | チームケア会議 (週 1 回)  | 2 月   | チームケア会議 (週 1 回)、研修「養護者による高齢者虐待対応研修」                        |
| 9 月 | チームケア会議 (週 1 回)、事例検討会  | 3 月   | チームケア会議 (週 1 回)、事例検討会「8050 問題、支援体制の構築を考える」                 |

### (2) 防火防災計画

年間をとおし、ご利用者への安全対策の周知や事業所内の備品等の整備、連絡体制の整備が未着手となっています。有事の際のご利用者基本情報リスト等を早期に整備し、非常災害時に備える必要があると考えています。

### (3) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症をはじめとした各種感染症対策については、常時のマスク着用や毎朝の検温、共用部分のアルコール消毒、空気清浄機・加湿器の稼働等に取り組み、一年を通して成果を挙げています。

## ■ 事業報告概要

高齢者への訪問介護、障がい者への訪問介護の合計した目標の稼働時間312時間/月に対して実績値で稼働時間227時間/月となりました。稼働率72.7%。前年度稼働時間211時間/月から月平均で16時間/月増となっています。大幅に目標稼働時間を下回っている理由としては年度初めに想定されていた職員数を確保できなかった為です。採用者:非常勤ヘルパー:3名。退職者:1名(病気理由)。職員1名が週4日→週1日と働き方の変更がありました。

### 【 1. 重点目標 】

#### (1) 気づきとチーム力の向上～ヒヤリハットへの意識改革～

1日1件ヒヤリハットを書く事を意識し、サービス提供時や自宅内の環境に存在するリスクを事前に把握する癖をつけ、情報共有をする仕組みを構築しました。結果、年間で415件のヒヤリハットが報告されました。転倒が2件、骨折や通院等の重大な事故は0件でした。ハインリッヒの法則1件(重大事故):29件(軽微な事故):300件(ヒヤリハット)を参考に考えると、月に一回の事業所会議でヒヤリハットを元に事故防止について検討した効果はあったと考えます。職員からは「細かいところのヒヤリハットにも気づけるようになりました」「ご利用者の歩き方や傾いている様子も以前より早く気づき、ケアマネジャー等に情報共有できるようになりました」という声も聴かれています。

### 【 2. 施設管理 】

#### (1) 会議・職員研修等

| 月  | 内 容                      | 月   | 内 容               |
|----|--------------------------|-----|-------------------|
| 4月 | 全体会議・HS職員会議              | 10月 | 事故防止研修・HS会議       |
| 5月 | 緊急時対応研修・HS職員会議           | 11月 | HS職員会議            |
| 6月 | 認知症研修・HS職員会議             | 12月 | プライバシー保護研修・HS会議   |
| 7月 | 運営会議、感染症等予防蔓延防止研修・HS職員会議 | 1月  | 倫理・法令遵守研修・HS会議    |
| 8月 | HS職員会議                   | 2月  | 虐待防止、身体的拘束研修・HS会議 |
| 9月 | 接遇に関する研修・HS職員会議          | 3月  | BCP研修・HS会議        |

#### (2) 消防訓練等

清住の杜町田と合同で9月に消火器訓練等を実施しました。策定したBCPをもとに災害時の対応の見直しや物品の整備も行いました。

### (3)感染症対策

コロナウイルス等、感染症の流行情報には十分注視し、除菌やマスク、スタンダードプリコーション、手袋等の着用を改めて意識して、備蓄含め感染予防、拡大防止に努めました。

## ■ 事業報告概要

高齢者への訪問介護、障がい者への訪問介護の合計した目標の稼働時間 312 時間/月に対して実績値で稼働時間 227 時間/月となりました。稼働率 72.7%。前年度稼働時間 211 時間/月から月平均で 16 時間/月増となっています。大幅に目標稼働時間を下回っている理由としては年度初めに想定されていた職員数を確保できなかった為です。採用者:非常勤ヘルパー:3 名。退職者:1 名(病気理由)。職員 1 名が週 4 日→週 1 日と働き方の変更がありました。

### 【 1. 重点目標 】

#### (1)気づきとチーム力の向上～ヒヤリハットへの意識改革～

1 日 1 件ヒヤリハットを書く事を意識し、サービス提供時や自宅内の環境に存在するリスクを事前に把握する癖をつけ、情報共有をする仕組みを構築しました。結果、年間で 415 件のヒヤリハットが報告されました。転倒が 2 件、骨折や通院等の重大な事故は 0 件でした。ハインリッヒの法則 1 件（重大事故）：29 件（軽微な事故）：300 件（ヒヤリハット）を参考に考えると、月に一回の事業所会議でヒヤリハットを元に事故防止について検討した効果はあったと考えます。職員からは「細かいところのヒヤリハットにも気づけるようになりました」「ご利用者の歩き方や傾いている様子も以前より早く気づき、ケアマネジャー等に情報共有できるようになりました」という声も聴かれています。

### 【 2. 施設管理 】

#### (1)会議・職員研修等

| 月   | 内 容                       | 月     | 内 容                |
|-----|---------------------------|-------|--------------------|
| 4 月 | 全体会議・HS 職員会議              | 1 0 月 | 事故防止研修・HS 会議       |
| 5 月 | 緊急時対応研修・HS 職員会議           | 1 1 月 | HS 職員会議            |
| 6 月 | 認知症研修・HS 職員会議             | 1 2 月 | プライバシー保護研修・HS 会議   |
| 7 月 | 運営会議、感染症等予防蔓延防止研修・HS 職員会議 | 1 月   | 倫理・法令遵守研修・HS 会議    |
| 8 月 | HS 職員会議                   | 2 月   | 虐待防止、身体的拘束研修・HS 会議 |
| 9 月 | 接遇に関する研修・HS 職員会議          | 3 月   | BCP 研修・HS 会議       |

#### (2)消防訓練等

清住の杜町田と合同で 9 月に消火器訓練等を実施しました。策定した BCP をもとに災害時の対応の見直しや物品の整備も行いました。

### (3)感染症対策

コロナウイルス等、感染症の流行情報には十分注視し、除菌やマスク、スタンダードプリコーション、手袋等の着用を改めて意識して、備蓄含め感染予防、拡大防止に努めました。

## ■ 事業報告概要

今年度は、地域の方との交流も多く、ご家族との外食や旅行を楽しまれた方もいました。また、ご入居者同士で散歩やお買い物、地域のお祭りとお出かけしていました。館内では1日2回のラジオ体操やカラオケの機械を活用してのリズム体操を導入し、意欲的に体力づくりを行っていました。また、カラオケ、歌声喫茶等レクリエーションを毎週開催し、余暇活動を楽しみました。さらに、地域交流室を活用し、地域の方が開催する落語、手工芸、ディスコにもご入居者が参加されました。外出が困難なご入居者は、移動販売を利用され「野菜と果物販売」、「移動スーパー」や「パン屋」、「キッチンカー」とご自身で選んで購入できる事を喜ばれました。体調不良により入院、ご逝去、介護施設へ入居と12月から3月にかけて退去者が多く、清住の杜町田の平均稼働率83.9%、退去戸数16戸となり、前年度平均稼働率89.8%、退去戸数10戸よりも5.9%下回る結果となりました。新規ご入居者の受け入れを図るため、引き続き、居宅介護支援事業所、老人保健施設、施設紹介センター等へのチラシの送付、ファックス、電話営業を継続し、新規ご入居者獲得に努めます。

---

### 【 1. 重点目標 】

#### (1) 新規ご入居者の獲得

検索サイトの情報を定期的に更新、施設紹介センターに対しチラシ、パンフレット資料の郵送、ファックス、電話での案内を実施しました。住宅での様子のお便りをパンフレットと一緒に郵送しました。施設紹介センター、検索サイトからのお問い合わせや見学が多く、当日の見学対応も積極的に受け入れを行いました。

#### (2) 楽しみのある生活

ご入居者同士で散歩に出掛けられ、近隣の方々との交流を楽しまれていました。また、ご家族、お孫様、友人と外食、家族旅行へ出かけられ、楽しい時間を過ごされた方もいらっしゃいました。

「地域サロン」にもご入居者数名が参加されていました。住宅での楽しみのひとつとしてカラオケの機械を導入し、定期的にレクリエーションを開催しました。ビンゴゲーム、回想ゲーム、脳トレーニングと行いました。

#### (3) 環境づくり

1日2回のラジオ体操やイベント・レクリエーション、近隣のイベント情報を掲示板に掲載し情報提供しました。ご入居者とのコミュニケーションを大切に、お困り事があった際は、状況に応じて有料サービスのご提案をご入居者、連帯保証人様へお知らせしました。

---

### 【 2. サービス内容 】

(1) 生活支援サービスの提供/基本サービスを行うと共に、ご入居者からのお困りごとのご相談にあわせ、有料サービスのご提案をしました。

(2) 地域交流スペースの活用/ご入居者と地域にお住まいの方々との交流を楽しまれていました。

(3) 特殊浴槽等の整備/ 現在、ご利用の方はおりません。1階特殊浴槽、2階大浴場の点検を定期的に

行いました。

---

### 【 3. 年間行事 】

| 月  | 内 容       | 月   | 内 容    |
|----|-----------|-----|--------|
| 4月 | --        | 10月 | ハロウィーン |
| 5月 | 筍御膳       | 11月 | 焼き芋    |
| 7月 | 七夕飾り      | 12月 | クリスマス  |
| 7月 | 流しそうめん    | 1月  | お正月    |
| 8月 | 夏祭り       | 2月  | 豆まき    |
| 9月 | 敬老御膳、花火大会 | 3月  | ひな祭り   |

毎月の地域サロン、パン屋に加え、7月からスイーツのキッチンカー、8月方野菜の訪問販売、12月からウエルシア移動販が始まり、ご入居者の楽しみの機会が増えました。

---

### 【 4. 施設管理 】

#### (1) 会議・職員研修等

| 月  | 内 容        | 月   | 内 容                       |
|----|------------|-----|---------------------------|
| 4月 | 全体会議、事業所会議 | 10月 | 全体会議、                     |
| 5月 | --         | 11月 | 事業所会議、運営会議                |
| 6月 | 事業所会議      | 12月 | 事業所会議、認知症研修               |
| 7月 | 運営会議       | 1月  | 事業所会議                     |
| 8月 | 事業所会議      | 2月  | 運営懇談会、事業所会議、感染症研<br>修     |
| 9月 | 消火訓練、事業所会議 | 3月  | 避難訓練、事業所会議、虐待防止研<br>修、BCP |

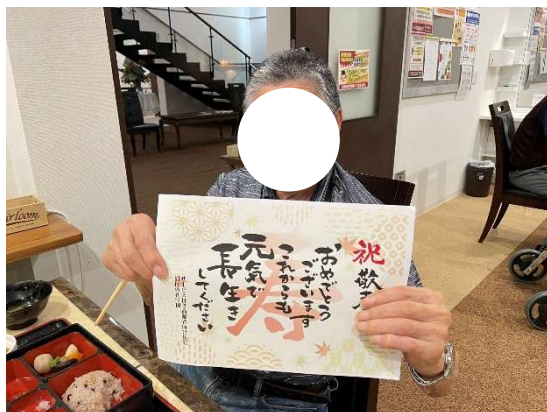
#### (2) 消防訓練等

上半期は消火器訓練と館内に設置してある消火器の場所の確認、備蓄品の確認を行いました。非常用のポータブル発電機の定期試運転も行いました。下半期は避難訓練として、避難通路、非常口の確認を行いました。確認後は1階の食堂へ集まり、居室内の注意事項の説明を行いました。

#### (3) 感染症対策

コロナウイルス等、感染症の流行情報には十分注視し、換気や消毒、マスク、手袋等の着用を改めて意識して、備蓄含め感染予防、拡大防止に努めました。

【 5. ギャラリー 】 この他にもブログや SNS に普段の様子を掲載しています



### ■ 事業報告概要

開所から2年目に入り、地域の方々には少しずつ商店街にあるデイサービスと認知されてきた印象です。9月までの稼働率は50%と緩やかな伸びでした。12月から1月にかけて、体調不良や入院される方が多く、最終の稼働率は60%に届かない結果となりました。開所から2年目を迎え、利用者数の増減には一定の波があることを実感しながら、日々の運営を通じて新たな学びを得るとともに、改善点にも気づかされました。

新規の居宅からの依頼は依然として少なく、認知度の向上や営業活動の強化が課題として挙げられます。職員の勤務状況や配置基準、人件費の兼ね合いを考慮する中で、積極的な営業活動の時間を十分に確保できなかったことを反省しています。一方で、日頃お世話になっている居宅からは新規の依頼をいただいております。サービス終了の理由が認知症の進行による入所やご逝去のみであることから、現状のサービスに対して一定の評価と満足を得られていると感じています。

半年以上ご利用いただいている方の中には、ご自身で身体機能の向上を実感される方が増えてきました。また、友人との会食や家族との旅行を楽しまれたという報告もいただくようになり、身体機能の改善だけでなく、活動意欲(自信)の向上にもつながっていることが伺えます。こうした変化は、職員にとっても日々提供しているサービスへの自信につながる貴重な経験となりました。

職員は全員、在籍1年以上となり、人間関係も互いに認め合いながら着実に構築されてきています。限られた空間でのサービス提供に悩むこともありますが、小規模だからこそ実現できる温かい環境づくりや丁寧なケアを強みとして、さらなる質の向上を目指していきたいと考えています。

今後も、良い点と改善すべき点を可視化しながら、職員全員で成長し、利用者には選ばれる事業所となることを目指してまいります。

---

### 【 1. 重点目標 】

#### (1) 根拠ある質の高いケアを追求し、選ばれる事業所を目指します

利用者の増減や身体・認知機能の変化など、日々さまざまな要因によって、ご利用者の心身の状態や人間関係、施設の雰囲気は変化しています。こうした変化を職員と共に毎日振り返り、より良いケアにつなげられるよう努めています。上半期と同様に、表面的な出来事だけでなく、その背景にある心の揺らぎや変化に目を向け、次のステップへと活かせる専門職として成長していきたいと考えています。そして、その成長を職員自身が実感し、さらに高いレベルを目指せるよう支えていくことも使命であると感じています。

また、資格取得やスキルアップのための研修への参加を希望する職員も現れ始めました。日々の業務を通じて自身の現在の実力を認識し、さらなる成長を目指したいという意欲が芽生えているのではないかと感じています。これがまず一歩であり、学び続ける姿勢が、より質の高いサービスへとつながっていくものと期待しています。

#### (2) 地域包括支援センター・地域住民と三位一体となり、各々の持つ地域愛を大切にしながら「安心して暮らしを続けられる地域」及び「まちの活性化を」を目指します。

専門職として、高齢者支援センターや近隣の大学、地域の方々との交流を深めるとともに、商店街の一員

としてイベントに出店するなど、さまざまな立場から地域との関わりを築いています。

支える側・支えられる側という明確な境界線が存在するのではなく、それぞれが必要な場面で立場を変えながら関係性を築いています。例えば、以前 Cherish に介護相談に来られた地域住民が、さくら保健室のイベントでは運営側として関わるなど、上下関係のない協力関係が生まれつつあります。

こうした関係を地道に築き上げながら、地域の実情をより深く理解するための調査を積極的に行い、社会福祉法人として求められる「地域における交易的な取り組み」の実施にも力を注いでいきたいと考えています。施設サービスの提供にとどまらず、地域の課題解決に貢献できる活動を今後も継続し、より良い地域社会の形成に寄与していきたいと思いをします。

---

## 【 2. サービス内容 】

### (1)生活指導(相談・援助)

見学时より情報収集とお身体の評価をできる限り行い、今すぐ改善できることや在宅生活における助言などを行っています。事業所の窓口、時には看板とも言われる生活相談員は、人柄や相性だけではなく専門職としての信頼を得られるよう努めています。

### (2)機能訓練

ご利用者が体感されている身体機能面の変化としては、「仰向けで寝られるようになった」「姿勢が良くなってきた」「まだまだ歩けるのだと気付くことができた」などといったお言葉を頂いております。開所より1年が経過したことで改めて訓練内容を見直し、運動の効果に対する問いが生まれたり、細かい関節の向きなどに配慮できるようになったりと、訓練における質の向上も感じられています。

### (3)健康チェック

バイタルチェック時にご本人が感じているその日の体調を聴取し、ご自身で把握する習慣を促すよう心がけています。当日の心身の状態に寄り添い、その日の活動内容や量の調整をご本人と行っています。

### (4)食事

季節感を取り入れた調理レクリエーションを行い、ご利用者の来歴に触れながらお食事を楽しんでいただいております。また、ご利用者の増加に伴い嚥下機能に合わせた食形態の幅が広がりました。ご家族や専門職からの情報をもとに、どのスタッフでも同じように提供できるよう努めています。

### (5)送迎

引き続き感染対策を徹底し安全第一で行っています。送迎時もお利用者の状態把握や情報収集できる場であるという認識も併せて持ち、ルートや時間配分についての確認とともに都度情報共有しています。送迎前の電話連絡や、お迎え時の持ち物や服薬確認、振替時に互いに行き違いが起きないような工夫など、ご利用者の生活状況に合わせて私達ができる支援と、それを確実に実行できるよう送迎票や記録書類の書式変更など職員と検討しながら日々改良しています。

### 【 3. 年間行事 】

| 月  | 内 容                         | 月   | 内 容             |
|----|-----------------------------|-----|-----------------|
| 4月 | お花見、たけのこ掘り                  | 10月 | おにぎりアクション、ハロウィン |
| 5月 | よもぎ料理、薬師池公園巡り               | 11月 | 紅葉狩り            |
| 6月 | 野津田バラ園見学                    | 12月 | クリスマス、餅つき、バラ園見学 |
| 7月 | 七夕                          | 1月  | 書初め、お正月遊び、蠟梅見学  |
| 8月 | 夏祭り                         | 2月  | 節分(豆まき)         |
| 9月 | 敬老祝賀会、FC 町田ゼルビア<br>クラブハウス訪問 | 3月  | ひな祭り            |

その他各月でお誕生日会を開催しました

### 【 4. 施設管理 】

#### (1) 会議・職員研修等

| 月  | 内 容             | 月   | 内 容             |
|----|-----------------|-----|-----------------|
| 4月 | 全体会議、法定研修(事業所内) | 10月 | 全体会議            |
| 5月 | 法定研修            | 11月 | 法定研修            |
| 6月 | 法定研修            | 12月 | 法定研修            |
| 7月 | 運営会議、法定研修、運営指導  | 1月  | 法定研修            |
| 8月 | 法定研修            | 2月  | 法定研修、消防訓練(事業所内) |
| 9月 | 消火訓練、法定研修       | 3月  | 法定研修            |

#### (2) 消防訓練等

2月に事業所内にて策定した BCP をもとに災害時の対応の見直しや物品の確認を行いました。また、BCP の研修後、事業所全体で共有し備品の確認等、日頃の業務の一環としてできることから取り組んでいくこととしました。

#### (3) 感染症対策

感染症に対する正しい知識を持ち、基本的な感染予防対策を日頃より徹底し、「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」環境づくりに努めました。

【 5. ギャラリー 】 この他にもブログや SNS に日々のご様子を掲載しています



# 法人概要

## 法人名

社会福祉法人 嘉祥会 (しゃかいふくしほうじん かしょうかい)

## 理事長

彌 信道

## 設立

2000年12月

## 所在地

東京都町田市下小山田町 2729-2

## 従業員数

77名 (2025年3月31日時点)

## 事業内容

認知症対応型共同生活介護、認知症対応型共用型通所介護、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護、短期入所生活介護、居宅介護支援、訪問介護(高齢・障害)、サービス付き高齢者向け住宅 他

## 協力・連携

(病院・クリニック)

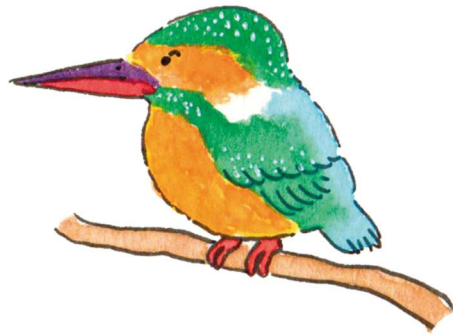
あいクリニック中沢、あさがお歯科、社会医療法人河北医療財団、小室医院、根岸薬局、東林間歯科

(施設)

介護付有料老人ホームグランマ八王子・立川、サービス付高齢者向け住宅リバーサイド立川、特別養護老人ホーム福音の家、老人保健施設マイライフ尾根道

(その他)

未来市民法法律事務所、銀座高橋法律事務所、税理士法人フォース、社会保険労務士法人JPS、メモリアルフォレスト多摩、セレモアホールディングス株式会社、有限会社タートル企画(介護タクシー)、



[https : // kashokai.com](https://kashokai.com)